

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立光陽支援学校
校長名	藤野 洋子

開催日時	令和2年12月22日(火)
開催場所	本館1階 図書室
出席者(委員)	小田 浩伸(会長) 宮本 正路(委員) 鎌倉 義雄(委員) 長島 知子(委員)
出席者(学校)	藤野 洋子(校長) 前田 真紀子(事務長) 篠川 一樹(教頭) 太田 直哉(教頭) 辻 美穂(小学部主事) 増田 健作(中学部主事) 菊池 亮輔(高等部主事) 中島 優(病弱部主事)
傍聴者	無
協議資料	下記 議題関係資料及び意見書
備考	

議題等(次第順)	
(1) 校長挨拶 (2) 「学校経営計画」の進捗状況について (3) 「学校教育自己診断」について (4) 「授業アンケート」について (5) 「教科書選定報告」について (6) 意見交換 (7) 教頭挨拶	
協議内容・承認事項等(校長より内容説明)	
(1) 校長挨拶 ・2学期に生じた本校教員の不適切な行為についての説明 (2) 「学校経営計画」の進捗状況について ・目標は昨年と変更なく、第3回の学校運営協議会で最終評価と次年度に向けての取り組みを説明予定 [以下画像と合わせて説明] ・3～5月にかけての休校期間の本校の教育活動について(学校の方針・家庭との連絡・動画配信・ZOOM通信等について) ・「つながり」のエピソードの紹介 ①城北朝鮮初級学校からのマスク寄贈 ②ダイハツ工業株式会社からのフェイスシールド寄贈 ・学校再開後の活動の様子 ・医療的ケア、給食時等の感染症対策について ・人工呼吸器使用生徒の保護者付き添いについて ・各学部の修学旅行代替行事について ・ポッチャ活動再開について ・病弱部の授業について (3) 「学校教育自己診断」について ・現在集約中。集約結果をもとに次年度の学校経営計画に反映させる。 (4) 「授業アンケート」について ・授業参観、日々の生活における2種類のアンケートを実施。 ・コロナ禍で参観に來られなかった保護者もおられ、提出率の低下が見られた。 (5) 「教科書選定報告」について ・学習指導要領改訂に基づき選定。	
協議内容・承認事項等(委員からの意見の概要)	
<<委員からのご意見と学校からの回答>> 1. 新型コロナウイルス感染症について ・地域の一般住人で陽性者が出た場合には学校に情報が入るのか。 →本校関係者に接点があれば何らかの情報は入る。また大阪府のHP記載の感染者に関する一覧も確認している。 ・学校で陽性者が出た場合は、いつ誰と一緒に居り、何をしていたか等の申告がないと検査できないと聞いたが、そうであれば学校も本当に大変だと感じている。 →学校関係者が濃厚接触者と特定され、検査対象となった場合は、連絡が入るシステムを構築している。夜間や休日に判明した場合も管理職には連絡が届く専用のメールアドレスを設定しており、保健所にすぐに提出できるよう行動履歴の作成もマニュアル化している。放課後等デイサービス事業所との連絡体制も構築し、何かあれば一報が入るよう連携している。 ・知的支援学校でコロナ感染者が出ている中、肢体不自由校では未だ感染者が出ていないのは、しっかり対策を取っているからだと感じている。 ・4月、5月の状態に戻るのには嫌だと感じている。当初は喪失感が大きく、皆の精神状態が心配だった。大学でも学生の友だちが陽性者となった場合に、どこまで自宅待機とするか等の判断が難しい。これからは保健所の判断だけでなく、それに追加してそれぞれの場所での判断が必要となってきていると感じている。 ・今後も、特に(大阪が)レッドステージの間は重々注意していければと思う。	
2. 人権事案について ・人権事案に関しては、それぞれの教員が「すべて自分の責任だ」と考え、その時に直接関係していた人も直接関係していなかった人も「自分なら何ができたか」と考えていくことが大切だと思う。 ・人権に関わる事象は地域でもたくさんあり、時代も変わってきている。光陽支援学校はしっかりと考えをもっている先生がいると思うので、立ち直していけると信じている。 ・人権問題は大学でも過去に多くあった。皆、理論は分かっているのだから、あとは想像力の問題。「自分ならばどうか」「自分の子どもならばどうか」と想像力を働かせる事が大切。また、先生方が年齢などに関係なく、勇気を出して「これは違う」と言うようにすることが大切だと思う。	
3. 本校の教育活動について ・コロナ禍における教育活動の説明の中で「できる事をできるチームから」とあったが、4月5月の休校期間の動画配信は子どもも毎回楽しみにしているのが伺えた。動画を見ることで表情も変わって、安心に繋がったと感じている。 ・6月分散登校も中途半端な時期からのスタートだったので、子どもたちはどうなのかと心配したが、どの学校もスムーズに再開できたと聞いている。それは動画配信を何度も子どもたちが繰り返し見ていたことが大きかったのではと感じている。 ・宿泊の代替行事の画像から、先生方が本当に工夫しておられすごいと感じた。 ・代替行事の様子を拝見し、素晴らしいと感じた。コロナ禍で世の中が暗いムードの中、あれだけの笑顔を見せているのは本当にすごいと感じた。	
日時	令和3年2月下旬予定
会場	大阪府立光陽支援学校 本館1階 図書室